

第46回対馬縦断駅伝大会

団体の部：陸上自衛隊が21連覇！
町体協・女子の部：美津島町が3年連続男女アベック優勝！



10区(仁位)からの再スタート



団体の部で優勝し、表彰を受ける陸上自衛隊Aチームの皆さん



タスキリレーする美津島町チーム
10区 11区(浦底)

12月17日、師走の恒例行事第46回対馬縦断駅伝大会が開催され、全島から出場した14チームが比田勝から厳原までの91・4kmを13人でタスキリレーしました。
大会には、男子の部(8区間79・1km)で、町体協の部に6チーム、団体の部に7チームが参加しました。
当日は寒気団の接近により、この冬一番の寒さを記録。時折小雪が舞う悪コンディションでの競技となりましたが、選手たちは寒さを吹き飛ばすかのような力強い走りを見せました。

沿道には、懸命に走る選手を励まそうと多くの観衆が詰めかけ、温かい拍手や声援を送っていました。
結果は、団体の部では、毎年圧倒的な強さを見せる陸上自衛隊Aチームが、今年も順当に勝ち21連覇を達成しました。
4区で区間賞を獲得しチーム優勝へ大きく貢献した陸上自衛隊Aの平山卓也さん(20歳・峰町出身)は、「寒さと強風で今日は走りにくかった。目標としていた区間新記録にあと少し及ばなかったのが残念。次回は記録を狙いたい」



団体の部で2位と健闘が光った上対馬高校
1区(比田勝) 2区(佐須奈)

一方、町体協の部では、美津島町チームが3年連続優勝を記録。また、各町体協と3高校の9チームが参加した女子の部(5区間12・3km)でも、美津島町が優勝し、3年連続アベック優勝を果たしました。



女子の部スタート 5区(三根)

【大会結果】(敬称略)
《町体協の部》
美津島町4時間49分46秒
上県町5時間00分24秒 豊玉町5時間00分41秒 厳原町5時間2分19秒 上対馬町5時間10分00秒 峰町5時間32分58秒
《団体の部》
陸上自衛隊A 4時間35分20秒 上対馬高校4時間45分37秒 陸上自衛隊B 4時間52分47秒 対馬高校4時間57分46秒 航空自衛隊 4時間57分51秒 豊玉高校5時間2分42秒 市消防本部5時間9分32秒
《女子の部》
美津島町45分04秒 上対馬45分48秒 対馬高校45分48秒 厳原町48分29秒 上県町49分11秒 峰町49分17秒 豊玉町49分38秒 上対馬高校52分



万間橋を駆け抜ける選手たち(12区)

19秒 豊玉高校53分51秒
【区間賞】 1区【10・4km】小山田雅俊(陸自A) 35分47秒 2区【8km】武本龍太郎(上対馬高校) 28分59秒 3区【11・4km】大森常正(厳原) 39分32秒 4区【12・0km】平山卓也(陸自A) 39分01秒 5区【2.5km】田村望(対馬高校) 9分12秒 6区【2.1km】川上菜月(美津島) 6分43秒(新) 7区【2.7km】中野ちひろ(美津島) 10分09秒 8区【2.5km】木村眞子(上対馬) 9分07秒 9区【2.5km】大浦翔子(上対馬) 9分01秒 10区【6.0km】堀江博志(上対馬高校) 20分42秒 11区【10・6km】犬塚信之介(陸自A) 35分25秒 12区【8.7km】堀江和博(上対馬高校) 30分42秒 13区【11・8km】土肥正幸(美津島) 38分58秒(新)

冷たい雨の中で好記録

小学駅伝大会・中央ロードレース大会



ナーの力走が光った大会になりました。

【大会記録】《小学駅伝6区間10km》久田小陸上クラブ(阿比留瞳、松原弘輝、横山七海、内山航輔、本村麻美、早田太一) 36分12秒 豊玉小A 37分20秒 厳原小A 37分43秒《区間賞》1区(1.6km)阿比留瞳(久田小陸上) 5分53秒 2区(1.6km)松村冬威(大船越小A) 5分38秒 3区(1.6km)横山七海(久田小陸上) 5分44秒(新記録)

4区(1.6km)井上智仁(厳原小B) 5分39秒 5区(1.8km)山本彩乃(塩浦小) 6分57秒 6区(1.8km)中庭拓洋(豊玉小A) 6分16秒

《ロードレース》4年男子(1.6km)阿比留和弘(佐護小) 5分56秒(新記録) 2秒短縮) 小嶋寿和(厳原北小) 6分3秒 宮野幹大(比田勝小) 6分5秒 4年女子(1.6km)松原由希(久田小) 6分16秒(新記録) 9秒短縮)

中野祐里(鶏鳴小) 6分27秒 梅野真由(豊玉小) 6分29秒 5年男子(1.6km) 内山

洋介(厳原小) 5分54秒 中村豪志(厳原小) 5分55秒 田口僚二(鶏鳴小) 6分3秒 5年女子(1.6km) 糸瀬朱那(仁田小) 6分30秒 大石結衣(豊玉小) 6分30秒 一宮明日香(豊玉小) 6分53秒 6年男子(1.6km) 阿比留圭祐(鶏鳴小) 5分44秒 岩佐研吾(厳原小) 5分46秒 松永健太(久田小) 5分49秒 6年女子(1.6km) 杉原ほなみ(塩浦小) 6分8秒(新記録) 3秒短縮) 阿比留絵里(佐護小) 6分20秒 大山由桂(佐須奈小) 6分25秒 中学生以上男子(3km) 川上建一郎(雞知中) 9分44秒 小山耕平(厳原中) 9分45秒 神宮達郎(雞知中) 9分49秒 中学生以上女子(3km) 阿比留優(久田中) 11分53秒 神宮葵(今里中) 12分23秒 御手洗由佳(西部中) 12分25秒 一般男子(10km) 土肥正幸(対馬南警察署) 32分22秒 武末真輔(上対馬高) 32分37秒 日高久朋(陸自) 33分18秒 40歳以上男子(10km) 内山徳博(陸自) 35分11秒 松井道則(陸自) 36分16秒 品川明弘(上対馬町駅伝部) 37分18秒

11月23日、峰運動公園陸上競技場で第16回対馬小学校駅伝大会と第20回対馬ロードレース大会が開催され、駅伝には市内から24チームが、ロードレースには小学生195名、中学生以上114名が参加しました。

小学校駅伝では、1区から6区までトップを守った久田小陸上クラブが優勝しました。中でも、横山七海さんは3区で今までの記録を6秒短縮する区間新記録で優勝に貢献しました。

また、ロードレースでも三つの新記録が誕生するなど雨天の悪いコンディションの大会となりましたが、参加ラン

11月23日、厳原体育館で、厳原少年剣道部の創立45周年記念大会が開かれ、厳原、美津島の剣道チームから97名の少年剣士が出場。熱戦を繰り広げました。

厳原少年剣道部 創立45周年記念大会



熱戦を繰り広げる少年剣士たち



選手宣誓を行う本石伶二くん

11月23日、厳原体育館で、厳原少年剣道部の創立45周年記念大会が開かれ、厳原、美津島の剣道チームから97名の少年剣士が出場。熱戦を繰り広げました。

同部は剣道を通して、青少年の健全育成を図ることを目的に昭和36年に創部され、46年には現在の運営母体である保護者会が発足しました。平成16年には第1回少年剣道教育奨励賞で全国表彰、翌年には長崎県社会体育優良団体賞を受賞しています。最盛期の昭和40年頃には、部員も約120名を数えましたが、現在は小学生26名、中学生14名の計40名の部員で活動しています。

開会式で主将の本石伶二くん(12歳)は、「先輩達が築いてきた素晴らしい対馬の剣道の伝統を引継ぎ、正々堂々の元氣いっぱい剣道をすることを誓います」と選手宣誓。試合では、日頃の稽古の成果を発揮しようと真剣に試合に臨む子どもたちに、会場に詰めかけた保護者から温かい声援が送られていました。

【結果】小学生低学年/ 鶏鳴少年剣道クラブ 大調少年剣道クラブ 平山道場 小学生高学年/ 厳原少年剣道部 佐須少年剣道クラブ 大調少年剣道クラブ 中学生/ 佐須中学校 厳原中学校B 久田中学校

美津島町少年の主張大会



意見発表した子どもたち

12月3日、美津島文化会館で美津島町少年の主張大会が開催されました。

発表前は、不安そうに順番を待っていた子どもたちもいざ話し始めると、力強く自信にみみぎる顔つきに変わり、堂々と発表していました。

中学生の上位2名は、2月18日に行われる第6回対馬少年の主張大会に代表として出場します。

また、中学生の国際化社会への関心を高める機会として、中学生英語発表会が同時に開催されました。

成績は次のとおりです。

(敬称略)

小学生の部

- 最優秀賞 山田将和(鶏鳴)
- 優秀賞 土肥健太(今里)
- 奨励賞 小宮進(衛門)(鶏鳴)
- 中学生の部
- 最優秀賞 吉野みなみ(雞知)
- 優秀賞 松村さやか(大船越)
- 奨励賞 黒田正雄(雞知)

総勢196名が参加
峰町ファミリーマラソン



12月3日、東小学校をスタート地点に、第21回峰町ファミリーマラソン大会が開催され小・中学生、一般、家族など総勢196人が参加しました。

小学生の部では、いきなりスタートからダッシュしたり、ラストスパートを仕掛けるなど、ほほえましい光景が見ら

れ終始わきあいあいとしたムードでした。

走り終わった後は、地元のお母さん方が作ったぜんざいに、選手たちは舌鼓をつっていました。

小雨の中、健脚を競う
上対馬町ロードレース



11月26日、上対馬町比田勝で第22回上対馬町ロードレース大会が開催されました。

当日は小雨の中、小学生155名、中学生84名、高校生3名、一般9名、家族11組27名の合計278名が参加しました。

悪天候の中、選手たちは沿道の温かい声援に力強い走りであぐらをかいていました。

対馬市防犯少年武道大会



柔道競技の様子

12月10日、美津島体育館で対馬市防犯少年武道大会(対馬市防犯連合会主催)が開催されました。

例年この大会は、南及び北地区防犯協会で、それぞれ別々に開催されていましたが、両地区を合併した対馬市防犯協会連合会が本年度に設立されたことにより、今大会から会場を一つとして開催されました。

大会には、全島から柔道、剣道のチームに所属する小学生から高校生まで約150名の選手たちが団体戦、個人戦に出場し、熱戦を繰り広げました。

【結果】(敬称略)

- 剣道団体 小学生の部 豊少年剣道ク 南陽少年剣道ク
- 鶏鳴少年剣道ク 中学生の部 佐須中学校剣道部B 厳原少年剣道ク 佐須中学校剣

道部A

- 柔道団体 小学生低学年の部 健心会A 玄武会A 健心会B 小学生高学年の部 玄武会A 玄武会B 健心会A

剣道個人 小学生男子 日下部直也(今里少年剣道ク)

- 荒木理人(比田勝少年剣道ク)
- 小茂田史士(豊少年剣道ク)
- 同女子 米田貴絵(南陽少年剣道ク) 川添辞乃(厳原少年剣道ク) 井川祐香(北地区剣友会) 中学生男子 一宮慎佑(佐須中剣道部) 田崎裕介(厳原中剣道部) 斉藤一樹(佐須中剣道部) 同女子 井川幸美(厳原少年剣道ク) 天野真歩(同) 小嶋麻衣子(今里中剣道部) 高校生 上野禎仁(対馬高校剣道部) 内山元志(同) 松村俊彦(同)

柔道個人 小学生低学年 山内柊太郎(健心会) 日高蓮矢(同) 日高誠吾(同) 同中学年 一ノ宮貴博(健心会)

- 橋本海(玄武会) 早田光(同) 同高学年 前野智輝(玄武会) 財部黄(同) 阿比留隆嘉(健心会)

郷土の伝統芸能を熱演！ 対馬島郷土芸能発表大会



曲の盆踊り

12月3日、第16回対馬島郷土芸能発表大会が対馬市交流センターで開催され、各地に伝承されている盆踊りや太鼓、民謡などの民俗芸能が披露されました。

大会は、対馬の美しい自然と伝統に培われた文化を大切に、後世に伝えていこうと対馬島郷土芸能保存会が毎年主催しているものです。地元のお祭りなどで披露されている各地の伝統芸能が一度に見られるとあって会場には多くの観客が集まり、この日のために練習を積んできた出演者達による熱演に、客席



豊玉太鼓

から盛大な拍手が送られました。

正調しんき節全国大会
黒潮日本民謡選手権大会

午後からは、第14回正調しんき節全国大会が開かれ、22歳から80歳までの17名の出場者が、対馬の伝統的な民謡を唄いました。優勝したのは、諫早市から参加した佐々木清人さん（64歳）。佐々木さんは以前奥さんが上対馬町で教員をしていた関係で、対馬に住んでおられたそうです。大会出場2回目での優勝にとっても嬉しそうでした。

優勝を分け合った二人 黒潮日本民謡選手権大会



根津美智子さん(豊玉町)



古藤辰雄さん(上対馬町)

正調しんき節全国大会
優勝の佐々木清人さん



また、引き続き開催された第7回黒潮日本民謡選手権大会には13名が会場。最高齢参加者の上対馬町の古藤辰雄さん（80歳）と、豊玉町の根津美智子さん（69歳）が優勝を分け合いました。

「しま」の芸術祭スペシャルコンサート
プロ、高校生、一般市民の共演に感動！



11月25日、対馬市交流センターイベントホールで「しま」の芸術祭スペシャルコンサートが開かれました。第1部は、国内トッププレイヤーによる小さな吹奏楽団「ポケマジ」が舞台上がり、6人の音楽家のピアノ、歌、管楽器による楽しいアンサンブルが披露されました。クラリネット、トランペット、トロンボーンなどの楽器を使用し、演奏された曲も童謡やCMなどで一度は耳にしたクラシック音楽が多く、また、コミカ

愛好者がステージに上がり、「ポケマジ」と一緒に、この日限りの吹奏楽団が結成され、「デュズニーマドレー」などの曲を熱演。約500名の聴衆を魅了しました。コンサートを楽しんだ37歳の男性(上県在住)は、「プロの音楽家による演奏や歌も素晴らしいと思ったが、高校生と一般市民が参加したコラボレーションは感動そのものだった。自分もぜひ楽器が弾けるようになりたいと思った」と話していました。



小さな音楽団「ポケマジ」

ポケマジと共演する市民の皆さん(上)